

平成22年度

教育委員会活動の点検・評価報告書

平成22年9月

松阪市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	松阪市教育ビジョンに係る「夢ナビゲーション」別の事業達成状況と 事業評価	2
	1 事業達成状況と事業評価	
	2 総評	
III	各事業の達成状況と事業評価一覧表、事務事業評価シート	3
IV	教育委員会の活動状況	63
	1 活動状況	
	2 総評	
V	第三者評価（学識経験者の知見の活用）	65

I はじめに

松阪市教育委員会は、平成 19 年 12 月に将来の松阪市を担う子どもたちをはじめすべての市民が暮らしやすい、「質の高い教育・文化にふれあうまちづくり」をめざし、今後 10 年間の松阪市の教育のあるべき姿を構築する「松阪市教育ビジョン」を策定しました。

松阪市教育ビジョンは、「夢を育み 未来を切り拓く松阪の人づくり」を基本理念とし、誰もが心に抱いている「夢」をかなえていくための道案内を「夢ナビゲーション」と名付け、「松阪に育ったことを誇りとし、世界の人々とともに生きる子ども」「思いやりをもち、自分らしさを発揮し、行動できる子ども」「じっくり考え、自ら表現し、学び続けようとする子どもたち」の 3 つの子ども像を実現するため、「学びの芽生えを育む就学前教育の充実」「学びの基礎を育む教育の充実」「市民による、市民のための生涯学習の推進」「個性あふれる文化・芸術の振興」「明るい生活を支えるスポーツライフの実現」「新しい教育の創造」の 6 つの夢ナビゲーションを策定したものであり、教育委員会は、これに基づき、学校教育、家庭教育、社会教育などの教育機能の充実・連携を図るとともに、市民の文化活動やスポーツ活動の機会の充実と質的向上に努めているところです。

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

そこで、松阪市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様へ説明責任を果たすため、平成 21 年度の事務事業について「教育委員会活動の点検・評価」（以下、「点検・評価」という。）の対象を「松阪市教育ビジョン」の 6 つの「夢ナビゲーション」とし、点検・評価を実施し、報告書にまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務〔前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。〕の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 松阪市教育ビジョンに係る「夢ナビゲーション」別の事業達成状況と事業評価

1 事業達成状況と事業評価

「夢ナビゲーション」別に各事業の達成状況と必要性、効率性、妥当性の観点から評価し、総合評価を行ない、次頁以降の一覧表にまとめ、事務事業評価シートを策定しました。

※達成状況について・・・達成状況をアルファベットA、B、Cで表わしています。

- 【達成状況】 A：「予定以上」
B：「予定通り」
C：「遅れている」

※評価について・・・必要性、効率性、妥当性をアルファベットで評価しています。

- 【必要性】 Aは必要性が非常に高い、以下順にB、C、Dと低くなります。
【効率性】 Aは効率性が非常に高い、以下順にB、C、Dと低くなります。
【妥当性】 Aは妥当性が非常に高い、以下順にB、C、Dと低くなります。

※総合評価について・・・必要性、効率性、妥当性のそれぞれの観点からの評価を総合的に評価したものです。

- 【総合評価】 A：重要な事業であり、さらに計画どおり事業を進めることが必要
B：計画どおり事業を進めることが必要
C：事業の進め方に改善が必要
D：事業規模・内容の見直しが必要

2 総評

6つの夢ナビゲーション別のそれぞれの事業の達成状況は、概ね「予定通り」であり、今後も、さらに「予定以上」を目ざし、継続的に取り組んでいきます。

また、各事業の評価は、概ね計画どおり実施できておりますが、今後も、教育の一層の充実を図るための取り組みを進めます。

このほか、平成22年4月の飯南管内小学校の統合を円滑に進めるため、飯南管内小学校統合準備委員会を5回開催、統合に向けた地域との話し合いを進めるとともに、統合により遠距離通学となる児童生徒の通学手段としてスクールバスの購入や図書、パソコンの移転整備を行いました。

また、少子化が進展していく中で、幼稚園教育の一層の充実を図るため、また、今後の市立幼稚園のあり方について検討するため、松阪市立幼稚園のあり方検討委員会を立ち上げ、2回開催し、本年12月の答申を目指して取り組みます。

Ⅲ 各事業の達成状況と事業評価一覧表

(1) 学びの芽生えを育む就学前教育の充実

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
1	学校支援課	特色ある学校・園づくり推進事業	B	A	B	A	A
2	学校支援課	教育研究指定助成事業(学力向上推進プロジェクト事業)	B	A	B	A	A
3	学校支援課	特別支援教育推進事業	B	A	B	A	A
4	子ども支援研究センター	教育相談事業	A	A	B	A	A
5	子ども支援研究センター	心のカウンセラー相談員配置事業	B	A	B	A	A
6	子ども支援研究センター	教職員研修事業	B	A	B	A	A
7	子ども支援研究センター	乳幼児教育研修事業	B	A	B	A	A

(2) 学びの基礎を育む教育の充実

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
1	学校支援課	特色ある学校・園づくり推進事業	B	A	B	A	A
2	学校支援課	教育研究指定助成事業(学力向上推進プロジェクト事業)	B	A	B	A	A
3	学校支援課	特別支援教育推進事業	B	A	B	A	A
4	子ども支援研究センター	教育相談事業	A	A	B	A	A
5	子ども支援研究センター	心のカウンセラー相談員配置事業	B	A	B	A	A
6	子ども支援研究センター	教職員研修事業	B	A	B	A	A
8	学校支援課	わくわくワーク事業	B	A	A	A	A
9	学校支援課	読書室いきいきプラン事業	B	A	B	A	A
10	学校支援課	外国語指導助手(ALT)事業	B	A	B	A	B
11	学校支援課	外国語指導助手派遣事業	B	A	B	A	B
12	子ども支援研究センター	教育支援センター推進事業	B	A	B	A	A
13	人権まなび課	外国人児童生徒いきいきサポート事業	A	A	B	A	A

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
14	人権まなび課	部落史編さん事業	B	A	B	A	A
15	給食管理課	中学校等給食センター建設事業	B	A	A	A	B
16	給食管理課	学校給食単独調理場備品等整備事業	B	A	C	B	B
17	給食管理課	学校給食センター備品等整備事業	B	A	C	B	B

(3) 市民による、市民のための生涯学習の推進

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
18	人権まなび課	人権教育地域促進事業	B	A	B	A	B
19	人権まなび課	人権学習推進事業	B	A	B	A	A
20	いきがい学習課	新成人のつどい開催事業	B	B	B	B	B
21	いきがい学習課	青少年健全育成事業	A	A	A	A	A
22	いきがい学習課	こどもまつり大会事業	A	A	A	A	A
23	いきがい学習課	図書館管理運営事業	A	A	A	A	A
24	いきがい学習課	生涯学習振興事業	A	A	A	A	A

(4) 個性あふれる文化・芸術の振興

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
25	文化課	地域文化振興事業	B	A	B	A	A
26	文化課	竹川竹斎生誕200年記念事業	B	A	A	A	A
27	文化課	市美術展覧会開催事業	B	A	A	A	A
28	文化課	第50回市美術展覧会特別記念展開催事業	B	A	A	A	A
29	文化課	歴史的建造物公開事業	B	A	B	A	A
30	文化課	景観保全整備事業補助金	B	A	B	A	A
31	文化課	天白遺跡公園整備事業	B	A	A	A	A

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
32	文化課	松阪城跡保存管理計画策定委員会事業費	B	A	A	A	A
33	文化課	文化財保存整備事業補助金	B	A	A	A	A
34	文化課	重要文化財宝塚1号墳出土品保存修理事業	B	A	A	A	A
35	文化課	原田二郎旧宅保存活用事業	B	A	A	A	A
36	文化課	史跡管理委託事業(緊急雇用)	B	A	A	A	A
37	文化課	長谷川家文書調査事業	B	A	A	A	A
38	文化課	松阪市民文化会館空調設備等緊急改修事業	B	A	B	A	A
39	文化課	松阪コミュニティ文化センター施設整備事業	B	A	B	A	A
40	文化課	松阪コミュニティ文化センター舞台機構等緊急改修事業	B	A	B	A	A
41	文化課	嬉野ふるさと会館施設整備事業	B	A	B	A	A
42	文化課	松浦武四郎誕生地保存整備活用検討事業	B	A	B	A	A
43	文化課	松浦武四郎記念館映像装置緊急改修事業	B	A	B	A	A

(5) 明るい生活を支えるスポーツライフの実現

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
44	スポーツ振興課	シティマラソン大会事業	B	A	A	A	A
45	スポーツ振興課	体育施設整備事業	B	A	A	A	A
46	中部台管理事務所	中部台運動公園施設整備事業	B	A	B	A	A

(6) 新しい教育の創造

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
47	学校支援課	児童生徒安全対策支援事業	B	A	A	A	B
48	教育総務課	松ヶ崎小学校プール改築事業	C	A	A	A	B
49	教育総務課	バリアフリー推進事業	B	A	B	A	A

シート 番号	担当課	事業名	達成状況	評価			総合評価
				必要性	効率性	妥当性	
50	教育総務課	エレベーター設置事業	B	A	A	A	A
51	教育総務課	久保中学校グラウンド整備事業	B	A	A	A	A
52	教育総務課	中学校給食配膳施設整備事業	B	A	B	A	A
53	教育総務課	中川幼稚園園舎増築事業	B	A	A	A	A
54	教育総務課	小・中学校空調設備整備事業	B	A	A	A	A
55	教育総務課	小・中学校施設維持修繕事業	B	A	B	A	A
56	教育総務課	幼稚園施設維持修繕事業	B	A	B	A	A

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	1
事 業 名	特色ある学校・園づくり推進事業		担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	各学校・幼稚園において、幼児児童生徒や地域の実態に即した特色ある教育を推進するための創意工夫に満ちた魅力ある教育活動を実施し、幼児・児童生徒の生きる力の育成を図る。			
事業内容	<p>学習指導要領、幼稚園教育要領に基づき、松阪市教育ビジョンの実現を図るための特色ある教育活動を各小中学校や幼稚園で展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業、林業等体験、職業体験、国際理解教育、環境教育等の実施 ・授業力向上のため講師招聘 ・郷土を愛する心を育てる教育の推進 <p>(幼稚園 22園、小学校38校 中学校12校を対象)</p>			
検討課題	地域の人材をはじめとする教育資源の活用や個に応じた指導など、各学校、各幼稚園の実態に即した特色ある教育を推進し、活動の様子や成果を保護者や地域に発信していくことが必要である。			
取組内容	<p>各学校・幼稚園において、学習指導要領に示されている「確かな学力」の向上、「豊かな人間性」の育成、「健やかな体」の育成を図ることを目的とするとともに、松阪市教育ビジョン、学校教育の方針に示されている教育内容の実現を図るための事業の展開を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・・・地域での体験活動、絵本の読み聞かせ、野菜や花作り、近隣幼稚園交流など ・小学校・・・太鼓、稲作、しょんがいき踊り等の体験活動、CRT、読書活動など ・中学校・・・太鼓、CRT、読書活動、人権教育、体験学習、福祉体験など 			
改善案・方向性	学校評価・学校関係者評価等を考慮しながら、特色ある学校づくりをすすめる中で、保護者・地域から信頼される学校・園づくりができるよう支援していく。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	2
事 業 名	教育研究指定助成事業(学力向上推進プロジェクト事業)		担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	各中学校区において幼小中が連携し、就学前から小学校、中学校までの子どもの発達段階に応じて、「確かな学力」の向上、「豊かな心」の育成を図ることを目指し、目標や課題を設定し、それらの解決、達成に向けた取り組みを推進する。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に応じた「めざす子ども像」などの指導重点項目の設定 ・効果的な指導方法及び評価方法等の研究を進めるための校区運営プランの作成 ・幼小中が継続的に指導できるためのツールの開発と工夫 ・指導観の共有化を図るための教員研修や授業交流の実施 			
検討課題	各中学校区において、幼稚園・小学校・中学校が連携し、学力向上にむけた一貫した教育活動の推進を図るとともに、発達段階に応じた年間指導計画等を策定していく必要がある。			
取組内容	<p>小中連携教育モデル校区に4校区(平成21・22年度三雲中、西中、平成22・23年度嬉野中、大江中)を指定して、校区の特色に応じた連携教育を推進した。また、幼小、小中連携教育のモデルとなる校区を指定して実践研究を推進した。</p> <p>1月には事業報告会を実施し、市内教職員に成果を発信した。また、各校区においても教員交流や児童生徒交流など、校区として目指す子ども像をもとにした取り組みが進められている。</p>			
改善案・方向性	幼稚園教育要領や学習指導要領改訂に伴い、連携教育の必要性が示されていることから、小中一貫教育の推進も視野にいれながら今後もさらなる充実を図っていく必要がある。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	3
事 業 名	特別支援教育推進事業		担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	<p>児童生徒の自立や社会参加に向けた取組を支援する。一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるため、適切な指導及び必要な支援を行う。</p>			
事業内容	<p>各校における障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育実践や生活体験等の充実を支援する。 LD、ADHD、高機能自閉症等、支援が必要な児童生徒に学習面や生活面で特別な教育的支援を行う学校生活アシスタントを配置し、適切な指導及び支援を実施する。</p>			
検討課題	<p>乳幼児から一貫した総合的な支援体制の構築を図っていくため、平成22年8月設置の育ちサポート室との連携を強化していく必要がある。</p>			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な教育的支援を行う学校生活アシスタントを小中学校に配置する。 ・教職員研修講座及び特別支援教育コーディネーター研修会等を開催し、特別支援教育の実践を推進する。 ・就学支援委員会において医療・保健・福祉・教育が連携し、就学児の適正な就学指導を実施する。 ・通級指導教室の充実を図り、個別指導の特別な指導を推進する。 ・NPOと連携した特別支援教育を推進する。 <p style="text-align: center;">学校生活アシスタント 平成21年度 32校54名配置</p>			
改善案・方向性	<p>学校生活アシスタントを配置し、特別支援学級や普通学級に在籍する障害のある児童生徒の支援体制の充実を図る。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	4
事業名	教育相談事業		担当課	子ども支援研究センター
達成状況	A	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	課題や悩みを抱えた子どもや保護者・教職員等への教育相談を行うことにより、個々の課題解決に資する。			
事業内容	幼児・児童生徒の生活や心の問題等について、子どもや保護者・教職員への教育相談を実施し、支援を行う。 ・面接相談、電話相談、土曜相談(第3土曜)の実施			
検討課題	子どもの心の問題は大きな社会問題となっており、相談内容は、多様化・複雑化してきている。相談ニーズに応じられるよう、相談員の力量を高めるとともに相談支援体制の充実を図っていく必要がある。			
取組内容	幼児・児童生徒の生活や学習、心の問題等について、子どもや保護者・教職員への教育相談を実施し、支援を行った。 ・相談延べ件数 1,555件(面接 1,100件、電話 455件)			
改善案・方向性	子どもたちの心や身体に関する問題が多様化・複雑化する中で、専門性を求める教育相談のニーズが高まっていることから、長期的な視野で専門的な知識や経験を有した職員の育成を進める必要がある。また、子どもと保護者への継続的・定期的な並行面接が有効な相談支援となるため、それが可能な相談支援体制の充実整備を図っていく必要がある。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	5
事業名	心のカウンセラー相談員配置事業		担当課	子ども支援研究センター
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	<p>困難な課題を抱えた幼児・児童生徒や保護者・教職員が、より専門的なカウンセリングやコンサルテーションを受けることにより、課題解決をめざす。</p>			
事業内容	<p>心のカウンセラー相談員を3ヶ所に配置し、心やからだの問題等でより困難な課題を抱えた幼児・児童生徒や保護者・教職員に対して、専門家によるカウンセリングを実施し、支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援研究センター(臨床心理士2名、月6回) ・嬉野教育事務所(臨床心理士1名、月1回) ・飯南教育事務所(教育カウンセラー1名、月1回) 			
検討課題	<p>子どもが抱える心の問題はますます複雑化・多様化し、その対応には、専門的な心理臨床的対応が必要とされる。定期的・継続的なカウンセリングが有効な支援方法であるが、相談ニーズには十分に答えられておらず、さらなる相談体制の充実が必要である。</p>			
取組内容	<p>臨床心理士等専門性を有したカウンセラーによる相談を3ヶ所(子ども支援研究センター・嬉野教育事務所・飯南教育事務所)で実施し、困難な課題を抱えた幼児・児童生徒及び保護者・教職員への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談実施回数 87回 ・相談延べ件数 242件 			
改善案・方向性	<p>子どもたちの成長に関する問題が多様化・複雑化し多発する中で、専門家による相談ニーズは今後ますます高くなることが予測される。高まるニーズに応じていくためには、相談員の増員や人選・配置方法等において体制整備を進める必要がある。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	6
事 業 名	教職員研修事業		担当課	子ども支援研究センター
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	教職員の指導力向上を図ることにより、幼児・児童生徒の学習効果や園・学校生活での満足度を高め、地域・保護者の信頼を得る。			
事業内容	幼稚園・小中学校の教職員を対象に、日常の教育実践や教育研究、あるいは教育実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供する。			
検討課題	指導力・授業力の向上が強く求められており、児童生徒や保護者の信頼を得るためにも、研修講座を充実させ、教職員の資質向上を図っていく必要がある。			
取組内容	幼稚園・小中学校の教職員を対象に33講座を実施(延べ参加者数2,344人)。日常の教育実践や教育研究、あるいは教育実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供することにより、教職員の指導力向上を図った。			
改善案・方向性	学習指導要領の改定や今日的な教育課題、教職員のニーズ等に即応した講座内容及び実施方法を創意工夫し、教職員の資質向上に有効に結びつく講座構築を進めていく必要がある。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの芽生えを育む就学前教育の充実 】

【 学びの基礎を育む教育の充実 】

			番 号	7	
事業名	乳幼児教育研修事業			担当課	子ども支援研究センター
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	乳幼児教育や子育てを支援することにより、心身ともに健全な子どもの育成を図る。				
事業内容	こども未来課との連携により、就学前教育施設・保育園・幼稚園・小学校の保育士・教職員等及び保護者を対象に、乳幼児保育・教育や子ども理解・子育て支援に役立つ研修の場を提供する。				
検討課題	乳幼児期における保育・教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために大切であり、心身ともに健全な子どもの育成をめざして、乳幼児保育・教育関係者の資質向上を図る必要がある。				
取組内容	保育士や幼稚園・小学校の教職員及び保護者を対象に、講演会や実技講習会等5講座を実施(延べ参加者数724人)。乳幼児保育・教育や子ども理解・子育て支援に役立つ研修の場を提供することにより、保育士や教職員等の資質向上を図った。				
改善案・方向性	変化する社会の状況や今日的課題、乳幼児の実態に対応した内容を工夫し、さらなる研修の充実を図っていく必要がある。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】			番 号	8
事業名	わくわくワーク事業		担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価 A
事業目的	<p>自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象として、キャリア教育の一環として学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を行うことにより、生徒においては個性の伸長、望ましい職業観、生きる力を育むとともに、地域社会においては、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高める。</p>			
事業内容	<p>中学生が職場での勤労体験を通して、豊かな感性や創造性を高めるとともに、働くことの意義等を学び、地域の人びとと交流することにより相互理解を図る。12中学校(41学級、1,369名)で、408事業所の協力により実施。 1校 40,000円×41学級</p>			
検討課題	<p>職場体験中は、不測の事故等が推定されるため、傷害・損害保険の加入や保育等の実習に携わる生徒においては検便検査が必要となり、現行の費用は最低限必要となっている。</p>			
取組内容	<p>・松阪市内全中学校で実施する。各中学校が「WORK期間」として連続して3～5日間設定し、中学生が自宅から直接活動場所に出向き、職場体験学習を行う。 ・活動場所では、事業所の協力者に生徒の活動を指導していただく。 ・活動の内容や成果等を全校に広めるとともににより多くの保護者や事業所の協力者に理解していただくために文化祭等で発表する。 12中学校(41学級、1,369名)で、408事業所の協力により実施。 1校 40,000円×41学級</p>			
改善案・方向性	<p>職場体験学習等キャリア教育は、働くことの意義や地域の人々の仕事を見つめ直す機会として中学生にとって大変有意義であり、必要な体験である。 したがって、県費補助事業が廃止になる平成23年度以降は、本事業を「松阪市キャリア教育推進協議会」に事業委託することにより、職場体験学習を中心としたキャリア教育の充実を図ることが望ましいことと考えている。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】			番 号	9
事 業 名	読書室いきいきプラン事業		担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	<p>中央教育審議会答申、新学習指導要領に示されているように、言語活動の充実は各教科等を貫く重要な内容である。そのために読書活動の推進は必要不可欠であり、学校読書室の活用や環境の整備を行い、児童生徒の読書活動の充実を図る必要がある。</p>			
事業内容	<p>学校の読書室に図書館司書を配置し、図書を整備を図るとともに、児童生徒に対し、読書案内や読書室の開閉、図書の貸出し返却業務、読書室環境整備を行うことにより、児童生徒の読書活動の活性化を図る。</p>			
検討課題	<p>各学校の読書室の整備、読書量の向上は喫緊の課題である。児童生徒が読書室を活用し、読書をする機会を増やしていくために、現在の事業を基盤にしながら、地域ボランティアの活用も視野に入れた取組を推進する。</p>			
取組内容	<p>①カウンター業務 ②資料整備業務 ③館内整備業務 ④読書活動推進業務 ⑤学習サポート業務 ⑥相互貸借のサポート業務 ⑦図書委員会のサポート業務 をおこない、前年度と比較し、全中学校合計で入館者数は6142名増、貸出冊数で3659冊増となっている。</p>			
改善案・方向性	<p>児童生徒の読解力、思考力を養うため、読書量の向上を図ることは極めて重要である。児童生徒が使いやすい読書室をめざし整備していくとともに、読書室が学校における教育センターとしての機能できるようにしていく必要がある。 また、本の読み聞かせなどの地域ボランティアの協力を得るなど、並行して本にふれる活動を積極的に進めていく必要がある。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】			番 号	10
事業名	外国語指導助手(ALT)事業		担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 B
事業目的	<p>市内中学校において、外国語教科の補助を行う。また、小学校・幼稚園においては、さまざまな交流を通して、外国文化にふれあう機会を提供する。ネイティブの発音を聞くことで、正しく聞き取り発音する能力を高め、外国人と接することで異文化理解を深め、豊かな人間性や社会性を育成する。</p>			
事業内容	<p>学校・園での国際化推進を図るため、外国語指導助手の外国人青年を配置し、中学校英語の補助、小学校・園での国際交流を推進する。</p>			
検討課題	<p>中学校の外国語教育及び小学校の外国語活動、また総合的な学習の時間における国際理解教育の推進といったことにさらなる充実を図っていく必要がある。特に、新学習指導要領において、平成23年度より小学校の5、6年生での外国語活動が必修となることから、外国語指導助手の派遣を今後も推進していく必要がある。</p>			
取組内容	<p>中学校の英語科、小学校の外国語活動や総合的な学習の時間における国際理解教育の補助をおこなう。</p>			
改善案・方向性	<p>学習指導要領の改訂に伴い、小学校において外国語活動が導入され、次年度より第5学年、第6学年で週1時間実施されるため、今後も外国語指導助手の派遣を充実していく必要がある。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】				番 号	11
事 業 名	外国語指導助手派遣事業			担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	B
事業目的	<p>松阪市内の中学校において、外国語教科の補助を行うとともに、小学校の外国語活動において、外国語やその表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力を育成するため、また、幼稚園においてもさまざまな活動に参加し外国文化にふれあう機会を提供するため、外国語指導助手の派遣を民間業者に委託する。</p>				
事業内容	<p>小中学校での国際化推進を図るため、外国語指導助手を中学校外国語の補助、小学校、園での外国語活動や国際交流を推進する。 ・外国語指導助手派遣業務委託料(180日)</p>				
検討課題	<p>新学習指導要領では、小学校における外国語活動が必修化された。そのため、小学校と中学校とが緊密に連携を図っていくことが必要である。 例えば、小学校での外国語活動の内容や指導の実態等を十分踏まえたうえで、中学校における外国語教育への円滑な移行と指導内容の一層の充実・改善を図ることが求められる。このことから、ALTの派遣においても、中学校区ごとの派遣をより推進していくことが必要である。</p>				
取組内容	<p>中学校の外国語教育、小学校の外国語活動及び総合的な学習の時間における外国語活動、国際理解教育の補助をする。</p>				
改善案・方向性	<p>学習指導要領改訂に伴い、小学校の外国語指導助手派遣は今までよりも増加する傾向にある。適正的な配置を調査していくことが必要である。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】				番 号	12
事業名	教育支援センター推進事業			担当課	子ども支援研究センター
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	一人ひとりの不登校児童生徒の状態に応じた支援を行うことにより、人間関係の改善や児童生徒の自立を促し、学校復帰及び社会的自立を図る。				
事業内容	2つの教育支援センター(鈴の森教室・うれしの教室)において、不登校児童生徒への支援を行う。				
検討課題	通室生の抱える問題や生活背景は多様化・複雑化しており、周囲と人間関係を築きにくく個別対応が必要な児童生徒が増加している。学校や関係諸機関と連携のもと、個々の心の課題に応じた支援を進めていけるよう、支援体制の充実を図る必要がある。				
取組内容	<p>2つの教育支援センター(鈴の森教室・うれしの教室)において、不登校児童生徒の適応指導や保護者・関係者への教育相談を実施し、学校復帰や出席日数の改善を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談及び通室指導対象児童生徒数 99人 ・相談延べ件数 2,685件(面接 1,795件、電話 626件、学校訪問 264回) 				
改善案・方向性	子ども理解に優れた相談員が不登校児童生徒の適応指導等に携わることで、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実させていくことが大切である。そのためには、相談員の力量を高めるとともに、人材の育成についても検討していく必要がある。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の創造 】			番 号	13
事業名	外国人児童生徒いきいきサポート事業		担当課	人権まなび課
達成状況	A	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	増加、広域化する外国人児童生徒の学習面・生活面の適応指導や相談活動により学校生活での不安を解消するとともに、自国の歴史や文化に誇りを持ち、互いの違いを認め合いながら共に生きていこうとする子どもの育成を図る。			
事業内容	1) 適応支援の充実 ・外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」、放課後日本語教室「にじ」の開設 ・学校巡回指導の実施。 2) 進路保障 ・進路(就職)ガイダンスの開催。 3) 母語保障 ・ポルトガル親子教室の開催			
検討課題	・初期適応支援教室の体制の充実 ・母語保障の取り組みの充実			
取組内容	外国人児童生徒を対象に日本語指導・初期適応支援や進路指導などを行った。 ・「いっぽ教室」・・・平成21年度通級児童生徒数31人(平成21年度修了23人、次年度継続通級等8人) ・「小中学校巡回指導」・・・952回・3880時間 対象学校数[小学校13校・中学校5校] ・「にじ教室」等・・・開催回数76回、参加者数のべ364人 ・「進路ガイダンス」・・・参加者[児童生徒29人・保護者等20人・学校関係者等64人計113人]			
改善案・方向性	外国人児童生徒の広域化、流動化に対応した巡回指導体制の強化と母語保障の取り組みの充実。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の創造 】				番 号	14
事業名	部落史編さん事業			担当課	人権まなび課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	<p>史実に基づき、被差別部落の歴史を正確に把握し、差別の不合理性を明らかにし部落差別の解消と人権教育推進を図る。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・編さん委員会・編集委員会の開催 ・部落史を活用した研修会の開催 ・松阪の部落史編さん計画に基づき近現代史料編等の史料収集、史料検討、史料整理 ・第一巻「前近代史料編」の販売等 				
検討課題	<p>松阪の部落史を活かした人権学習体制の確立、学校での人権教育のための教材化</p>				
取組内容	<p>平成21年度は、「松阪の部落史前近代史料編」の積極的な活用として、小中学校教員対象に研修会を2回開催し、その講演記録を冊子にまとめた。 また、平成20年度に策定した「松阪の部落史編さん計画」に基づき編集委員3人を委嘱し、近現代史料編等の編集を進めた。</p>				
改善案・方向性	<p>計画的に事業を進めることでコストの軽減を図り、部落史の学習教材としての有効活用の検討により事業効果を高めていく。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】			番 号	15
事 業 名	中学校等給食センター建設事業		担当課	給食管理課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価 B
事業目的	<p>平成21年9月から本庁管内7中学校の給食を開始するため、給食センターの建設及び備品整備を図る。 食育の一環として実施する学校給食は、正しい食生活について理解を深め、健康な体づくりに寄与する。</p>			
事業内容	<p>本庁管内の7中学校の学校給食の実施に向けて、給食センターの設置を図り、備品等の整備を行う。 調理能力 最大5,000食／日 7中学校食数 約3,200食</p>			
検討課題	<p>今後は、各種設備等の適切な取扱いとトラブル発生時の迅速な対応が求められる。</p>			
取組内容	<p>建設工事(建築・電気・機械・屋外附帯)、工事監理業務、工事設計意図伝達 備品整備(厨房備品 食器 中学校用配膳ワゴン等)</p>			
改善案・方向性	<p>建設事業が完了し、今後は施設の適正な維持管理に努めたい。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】			番 号	16
事業名	学校給食単独調理場備品等整備事業		担当課	給食管理課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性C、妥当性B	総合評価 B
事業目的	給食調理の作業能率の向上と、給食施設・設備の改善による衛生管理の充実を図る。			
事業内容	本庁管内24小学校単独調理場の作業能率及び衛生管理の向上を図るために、学校給食備品等の整備を行う。			
検討課題	安全・安心な給食の運営には、近代的な厨房備品を整備することが必要であるが、年次計画で整備しなければならない。			
取組内容	各単独調理場において衛生管理基準に基づいた給食用備品等を購入した。 <主な購入物品> 花岡小学校において真空冷却機を設置 第四小学校において回転釜(2台)を設置 松ヶ崎小・大河内小においてガス炊飯器を設置			
改善案・方向性	学校給食備品の充実のみならず、食器についての更新も随時行っていく。給食用食器は取扱いがハードになるため、硬くて丈夫、そして優れた保温性と衛生的な食器が要求される。割れ、欠けなどの機能的な問題や、長期使用による劣化等で衛生上問題が生じた時を取替え時とし、随時更新していく。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【 学びの基礎を育む教育の充実 】			番 号	17
事業名	学校給食センター備品等整備事業		担当課	給食管理課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性C、妥当性B	総合評価 B
事業目的	給食調理の作業能率の向上と、給食施設・設備の改善による衛生管理の充実を図る。			
事業内容	学校給食センターの作業能率及び衛生管理の向上を図るために、学校給食備品等の整備を行う。 嬉野学校給食センター 三雲学校給食センター 飯南学校給食センター 飯高学校給食センター森調理場 飯高学校給食センター宮前調理場			
検討課題	安全・安心な給食の運営には、近代的な厨房備品を整備することが必要であるが、年次計画で整備しなければならない。			
取組内容	各給食センターにおいて衛生管理基準に基づいた給食用備品等を購入した。 <主な購入物品> 嬉野学校給食センター コンテナ 三雲学校給食センター 一層シンク(2台)			
改善案・方向性	学校給食備品の充実のみならず、食器についての更新も随時行っていく。給食用食器は取扱いがハードになるため、硬くて丈夫、そして優れた保温性と衛生的な食器が要求される。割れ、欠けなどの機能的な問題や、長期使用による劣化等で衛生上問題が生じた時を取替え時とし、随時更新していく。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】			番 号	18
事業名	人権教育地域促進事業		担当課	人権まなび課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 B
事業目的	市民等に対する人権学習機会の提供による資質向上と住民主体の啓発活動の推進。			
事業内容	1)人権教育研究大会等への一般公募による市民の参加機会の提供。 2)人権教育推進の活動を行う地域組織等への人権啓発事業の委託。			
検討課題	事業効果を高めながらコストの軽減を図る。			
取組内容	市民自ら人権啓発に取り組めるよう、研修会、研究大会等への参加機会を提供し、地域を中心とした人権啓発活動を委託により推進した。 人権問題研究大会等参加・・・参加大会数6大会、参加者16人 人権啓発事業の委託・・・6団体			
改善案・方向性	コストの軽減を考慮し事業内容等を精査しながら事業効果を高めていく。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】				番 号	19
事業名	人権学習推進事業			担当課	人権まなび課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	人権尊重社会の実現に向け、社会教育における人権教育を推進し、人権問題の解決に向かって住民が活動する社会の実現。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する学習機会の充実を図り学習・啓発活動を行う。 ・住民の人権教育のリーダー養成 ・人権問題を考える住民の組織化・ネットワーク作り ・住民主体の人権講座・講演会の開催 				
検討課題	コストの軽減を図りながら人権学習・啓発活動の充実				
取組内容	<p>社会教育施設を中心として人権問題についての学習や啓発活動、その他全市の人権問題について学習活動を行った。</p> <p>人権講座(住民主体の人権教育リーダー養成)・・・回数66回、参加者1,415人 人権講演会(住民主体の人権教育の推進)・・・回数26回、参加者4,320人 人権啓発映画会・・・回数3回、参加者1,000人 にほんご教室・・・41回、参加者406人 人権啓発冊子の発行(講演記録)・・・部数5,000部</p>				
改善案・方向性	コストの軽減を考慮し事業内容等を精査しながら事業効果を高めていく。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】				番 号	20
事業名	新成人のつどい開催事業			担当課	いきがい学習課
達成状況	B	評 価	必要性B、効率性B、妥当性B	総合評価	B
事業目的	新成人を祝い大人としての責任と自覚を促す場として、ひとりひとりが心に残る新成人のつどいを開催する。				
事業内容	式典(市長あいさつ・新成人謝辞等)、アトラクションの場の設定				
検討課題	会場における新成人のマナー、実行委員会のあり方等				
取組内容	<p>日 時 : 平成22年1月10日(日)午前10時～午前11時30分</p> <p>場 所 : 松阪市民文化会館</p> <p>対 象 : 平成元年4月2日～平成2年4月1日までに生まれた方</p> <p>参加人数 : 1,300人(住民登録者数 1,595人) 住民登録者数に対して 81.5%</p>				
改善案・方向性	現状の実行委員会は新成人のみの脆弱な組織体であり、その組織を確固なものにすべく、新成人OBや学校との連携等を強化することで、実行委員会の組織強化のために支援していきたい。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】				番 号	21
事業名	青少年健全育成事業			担当課	いきがい学習課
達成状況	A	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	<p>松阪の将来を担う青少年の健全育成を図るため、次代の担い手である青少年が心身ともに健全に育つ環境づくりをめざし、健全育成活動の推進と環境整備を行う。</p>				
事業内容	<p>行政と各地区健全育成会が一体となって、家庭教育講演会・各種講座・環境浄化活動・街頭啓発等を実施。</p>				
検討課題	<p>青少年健全育成事業内容の精査と事務の簡素化</p>				
取組内容	<p>○青少年育成のつどい講演会の開催 平成21年12月7日 松阪コミュニティ文化センター ○家庭教育講演会・子ども体験教室等の開催 ○市内24育成会にそれぞれの地域にあった健全育成活動を業務委託</p>				
改善案・方向性	<p>子どもの健全育成のために今後も事業を推進していくが、関係団体等の理解を得て、さらに一層の事業精査、事務改善を図っていく。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】				番 号	22
事業名	こどもまつり大会事業			担当課	いきがい学習課
達成状況	A	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	創作や遊びを通じて、郷土の将来を担う子どもたちの育成を図る。				
事業内容	創作や遊びを通じて、子どもたちが家族や友達と一日楽しく過ごすことができる催し物を提供する。				
検討課題	新規参入団体の募集等				
取組内容	<p>○日 時 : 平成21年4月26日(日) 午前10時から午後3時まで</p> <p>○場 所 : 中部台運動公園</p> <p>○参加人数 : 15,000人</p> <p>○内 容 : ステージ、あそぶ・たべる・つくる各コーナーの開設</p>				
改善案・方向性	出展内容の充実・精査を行う。また、実行委員会の開催回数の削減及び各部門別責任者の配置とその部門別協議の開催等において、事務の軽減・コストの削減を図る。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】				番 号	23																																																							
事業名	図書館管理運営事業			担当課	いきがい学習課																																																							
達成状況	A	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A																																																							
事業目的	図書館施設(松阪図書館・嬉野図書館)を適法・適正に管理し、施設利用者のサービスの向上を図る。																																																											
事業内容	<p>○図書館コンピューターシステムの利用による図書館業務の効率化と迅速化を推進した。</p> <p>○高度情報化社会の多様なニーズに対応するため、蔵書等の充実を図った。</p>																																																											
検討課題	指定管理者制度の導入年度であり、施設利用者のニーズを的確に把握することが課題である。																																																											
取組内容	<p>○平成21年度各図書館(室)における利用状況等</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">貸出冊数</th> <th style="text-align: center;">利用者数</th> <th colspan="3"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松阪図書館</td> <td style="text-align: right;">493,130</td> <td style="text-align: right;">104,412</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>嬉野図書館</td> <td style="text-align: right;">254,235</td> <td style="text-align: right;">56,303</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>三雲図書室</td> <td style="text-align: right;">13,474</td> <td style="text-align: right;">4,026</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">760,839</td> <td style="text-align: right;">164,741</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成21年度各図書館(室)における図書購入(内訳)等</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">一般図書</th> <th style="text-align: center;">児童図書</th> <th style="text-align: center;">紙芝居</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松阪図書館</td> <td style="text-align: right;">7,918</td> <td style="text-align: right;">1,799</td> <td style="text-align: right;">52</td> <td style="text-align: right;">9,769</td> </tr> <tr> <td>嬉野図書館</td> <td style="text-align: right;">3,335</td> <td style="text-align: right;">1,031</td> <td style="text-align: right;">30</td> <td style="text-align: right;">4,396</td> </tr> <tr> <td>三雲図書室</td> <td style="text-align: right;">911</td> <td style="text-align: right;">447</td> <td style="text-align: right;">34</td> <td style="text-align: right;">1,392</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">12,164</td> <td style="text-align: right;">3,277</td> <td style="text-align: right;">116</td> <td style="text-align: right;">15,557</td> </tr> </tbody> </table>						貸出冊数	利用者数				松阪図書館	493,130	104,412				嬉野図書館	254,235	56,303				三雲図書室	13,474	4,026				計	760,839	164,741					一般図書	児童図書	紙芝居	計	松阪図書館	7,918	1,799	52	9,769	嬉野図書館	3,335	1,031	30	4,396	三雲図書室	911	447	34	1,392	計	12,164	3,277	116	15,557
	貸出冊数	利用者数																																																										
松阪図書館	493,130	104,412																																																										
嬉野図書館	254,235	56,303																																																										
三雲図書室	13,474	4,026																																																										
計	760,839	164,741																																																										
	一般図書	児童図書	紙芝居	計																																																								
松阪図書館	7,918	1,799	52	9,769																																																								
嬉野図書館	3,335	1,031	30	4,396																																																								
三雲図書室	911	447	34	1,392																																																								
計	12,164	3,277	116	15,557																																																								
改善案・方向性	平成21年度から指定管理者制度を導入したことから、利用者アンケート等を活用して、さらに利用者ニーズの的確な把握に努め、サービスの向上をめざしていく。																																																											

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【市民による、市民のための生涯学習の推進】				番 号	24
事業名	生涯学習振興事業			担当課	いきがい学習課
達成状況	A	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	住民の自己の充実・啓発や生活の向上のため、豊かな学習機会を提供することを目的とする。				
事業内容	各種講座、討論会、講習会、実習会等の開催(社会教育法第二十二条関係事業)				
検討課題					
取組内容	公民館における講座等の開催 ・平成21年度講座等開設延べ日数 2,363日				
改善案・方向性	各種社会教育関係団体等との連携を一層図り、評価対象事務事業の充実に努める。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	25
事業名	地域文化振興事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	地域の特性を生かした文化振興を推進する。				
事業内容	地域文化の振興を図るため、住民の発表の場である文化祭等を開催するとともに、地域の郷土芸能等を継承する活動を支援する。				
検討課題	各地域で育まれた文化を継承し、新たな文化の創造や豊かな地域社会の実現を目指す。				
取組内容	地域文化の振興を図るため、住民の発表の場である文化祭等を開催するとともに、地域の郷土芸能等を継承する活動を支援する。				
改善案・方向性	各地域で育まれた文化を継承し、新たな文化の創造や豊かな地域社会の実現を目指す。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	26
事業名	竹川竹斎生誕200年記念事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	郷土の偉人・竹川竹斎の生誕200年を記念した事業を実施し、竹斎の功績を広く伝えるとともに、郷土の誇りとして顕彰する。				
事業内容	「射和文庫」を創設するなど教育家あるいは文化人として大きな足跡を残し、また文明開化の先駆者的存在である竹川竹斎。生誕200年を記念して事業を行い、竹斎の事績を顕彰し、後世に伝えることで地域の伝承と振興に寄与する。				
検討課題	地元(射和地区)だけではなく、松阪の文化人の一人として後世に伝えていく必要がある。				
取組内容	主な記念事業(平成21年度実施) ○シリーズ講演会の開催(4回) ○トークディスカッションの開催 ○竹川竹斎一代記の演劇・紙芝居の上演 ○竹川竹斎展の開催 ○茶会と伝統文化体験教室の開催				
改善案・方向性	地元(射和地区)だけでなく、市民に松阪の文化人の一人としての認識をもってもらうことにより、松阪市の文化振興に努める。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	27
事業名	市美術展覧会開催事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	<p>松阪地域の美術文化の祭典として、住民の美術創作意欲を高めるとともに、美術に対する理解を深め、松阪地域の美術水準の向上を図る。</p>				
事業内容	<p>松阪市で唯一の公的な美術展覧会として、「絵画」「彫刻・立体」「写真」「書道」の4部門で開催する。</p>				
検討課題	<p>市民公募の運営委員を中心に、専門家や芸術家の意見を取り入れ、運営のあり方などを検討する必要がある。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○運営委員会の開催 ○審査委員の決定 ○開催要項、ポスターの作成及び配布 ○作品募集 ○審査 ○審査結果の発表 ○展覧会の開催 ○入賞者の表彰 				
改善案・方向性	<p>出品作品の多様化に対応できる部門や次世代の人材発掘ができるような運営のあり方を運営委員会で検討した結果、平成21年度は、従来の6部門から、「絵画」「彫刻・立体」「写真」「書道」の4部門に変更した。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	28
事業名	第50回市美術展覧会特別記念展開催事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	松阪地域の美術文化の祭典として、住民の美術創作意欲を高めるとともに、美術に対する理解を深め、松阪地域の美術水準の向上を図る。				
事業内容	松阪市美術展覧会の開催50回を記念して、心豊かな市民生活の形成の一端とするため、松阪出身の二人の画家の作品を展示する特別記念展を開催する。				
検討課題	宇田荻邨画伯の「魰」(第一小学校所蔵)は、動かすことができないほど状態が悪く、また、産業振興センターに展示している「梁」は、直射日光が当たるなど環境が劣悪である。後世に残していかなければならない松阪市の芸術遺産であるため、作品の修復や展示場所の検討が急務である。				
取組内容	○「宇田荻邨と中谷泰展」の開催				
改善案・方向性	文化財として保存していく方向である。また、適切な展示場所を考えていきたい。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	29
事業名	歴史的建造物公開事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	<p>殿町の重要文化財「御城番屋敷」及び市場庄町の町屋「いちのや」を一般公開することにより、市民や市外からの来訪者に歴史的遺産の保全や活用をアピールする。</p>				
事業内容	<p>「御城番屋敷」及び「いちのや」を所有者から借り受け、一般公開を行う。</p>				
検討課題	<p>古い建造物であるため、維持管理には様々な課題があるが、所有者の協力と理解を得ながら、文化財保護の意義や歴史という視点からのまちの魅力について広く理解が得られる場としていく必要がある。</p>				
取組内容	<p>「御城番屋敷」及び「いちのや」を所有者から借り受け、一般公開を行った。</p>				
改善案・方向性	<p>今後も貴重な歴史的遺産の保存・活用のため、事業を推進していく。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	30
事業名	景観保全整備事業補助金			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	松阪城跡周辺の歴史的景観や町並みを保全する。				
事業内容	<p>○御城番屋敷及び本殿町・上殿町の武家屋敷の町並みを保全するために、生垣や庭木の刈込、剪定、補植に対し、補助金を交付する。</p> <p>○歴史的景観を保全するために、景観に見合った建築物の新增改築などに対し、補助金を交付する。</p>				
検討課題	貴重な景観を守っていくためには、所有者の理解と協力を得なければならない。				
取組内容	<p>○刈込1m当たり1,000円、補植1本当たり1,000円の補助金を交付する。</p> <p>○景観保全整備基準に基づいて、建築物の新築、増築、改築、改修、移転工事に対し、最高130万円、門及び塀、工作物の新築、増築、改築、改修に対し、最高70万円の補助金を交付する。</p>				
改善案・方向性	今後も貴重な景観を守るために、所有者の理解と協力を得ながら、事業を推進していくが、市全体の施策として、都市政策部の景観担当部署との連携が必要である。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	31
事業名	天白遺跡保存整備事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	西日本最大の配石遺構をもつ縄文時代の遺跡として学術的に高く評価されている国指定史跡の天白遺跡を整備し、市民の憩いの場とする。				
事業内容	平成21年度・22年度の2カ年で約14,000㎡の史跡地を整備する。				
検討課題	天白遺跡は、市の中心地から離れていることに加え、歴史的建造物や古墳などの目玉がないことから、いかにして人を引き寄せるかが大きな課題である。				
取組内容	平成21年度は、配石遺構の復元等を行った。				
改善案・方向性	人を引き寄せるために、配石遺構の復元や植樹などに地域住民やNPO団体などの協力を得るとともに、古代生活体験などのイベントを開くなど、市民参加型の整備事業を行い、市民に周知していく。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	32
事業名	松阪城跡保存管理計画策定委員会事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	県史跡松阪城跡の価値を再確認し、今後のあるべき姿について検討する。				
事業内容	松阪城跡の今後の保存と管理の方法を専門家、市の関係部局で検討し、保存管理計画を策定する。				
検討課題	松阪全体の貴重な城跡を今後も保存・活用していくために、その方策や目指すところを一冊の本にまとめるが、市民の意見や県の意見も必要であり、専門家だけでない幅広い意見交換が必要である。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○松阪城跡保存管理計画策定委員会の開催 ○松阪城跡測量業務 				
改善案・方向性	市民の代表を入れていく方向である。また、国史跡となれば国の意見も聞く必要がある。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	33
事業名	文化財保存整備事業補助金			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	文久3年(1863)に建設された重要文化財・御城番屋敷を修理し、市民の貴重な財産として末永く保存・活用する。				
事業内容	平成20年度から平成22年度までの3カ年で重要文化財・御城番屋敷の修理(屋根瓦のふき替え、構造補強、後世に改造された間仕切りの当初形式への復元など)を行う。この修理に対し、国、県、市が補助をする。 ・総事業費 約206,000千円 ・補助率 国5/10、県1/10、市2/10				
検討課題	御城番屋敷は、合資会社・苗秀社の所有であり、修理に当たっては国、県、市の補助があるが、事業費の2割は所有者が負担しなければならない。所有者には、文化財保護法に基づく保護管理が義務付けられており、所有者の負担軽減が今後の文化財保護の課題である。				
取組内容	平成20年度から平成22年度までの3カ年で重要文化財・御城番屋敷の修理(屋根瓦のふき替え、構造補強、後世に改造された間仕切りの当初形式への復元など)を行う。この修理に対し、国、県、市が補助をする。 総事業費 約206,000千円 補助率 国5/10、県1/10、市2/10				
改善案・方向性	所有者の負担軽減のため、県に対して補助金の増額を要望している。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	34
事業名	重要文化財宝塚1号墳出土品保存修理事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	<p>松阪市の貴重な財産である、重要文化財宝塚1号墳出土品を保存管理、公開していくために、専門機関で解体・修理・復元をする。</p>				
事業内容	<p>重要文化財に指定された船形埴輪など271点のうち、貸出頻度の高いものや破損のおそれがあるものを中心に、6点を平成19年度から3年間で修理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度 船形埴輪1点 ・平成20年度 家形埴輪2点 ・平成21年度 家形埴輪1点、冪形埴輪2点 				
検討課題	<p>財政状況を考慮して、まず6点を選択して、修理を行っているが、他の物件についても修理が望ましい。</p>				
取組内容	<p>重要文化財に指定された船形埴輪など271点のうち、貸出頻度の高いものや破損のおそれがあるものを中心に、6点を平成19年度から3年間で修理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度 船形埴輪1点 ・平成20年度 家形埴輪2点 ・平成21年度 家形埴輪1点、冪形埴輪2点 				
改善案・方向性	<p>宝塚1号墳出土品については、平成21年度で当初の事業が完了したが、残りの埴輪については、今後、財政状況を考慮しながら、修理を検討していく必要がある。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	35
事業名	原田二郎旧宅保存整備活用事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	<p>殿町の武家屋敷の楨垣が残る景観保全地域において、財団法人原田積善会から江戸時代末の武家屋敷の建物(原田二郎旧宅)と敷地の寄贈を受けたため、武家屋敷の復元を主とし、原田二郎を顕彰する施設として整備し、公開・活用を図っていく。</p>				
事業内容	<p>武家屋敷の形態を残す原田二郎旧宅の建物及び庭園の整備を進めるための痕跡調査と実施設計を行う。</p>				
検討課題	<p>少ない財源で、いかに効果的に修理し、武家屋敷と原田二郎という偉人を見せられるか。また、原田二郎という人物をいかに市民に周知できるか。</p>				
取組内容	<p>○痕跡調査 ○実施設計</p>				
改善案・方向性	<p>専門家だけでなく、庁内の建設部局と連携し、情報交換しつつ効率的な修理・公開を行いたい。また、原田二郎という偉人を市民に周知するため、広報等でPRしていく。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	36
事業名	史跡管理委託事業(緊急雇用)			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	史跡等を整備することによって、本市の歴史・伝統・文化を正しく理解する。				
事業内容	緊急雇用創出事業により、市が所有する史跡の除草及び樹木伐採と破碎を行う。				
検討課題	自然生えした樹木が広大な史跡地に茂っており、通常の管理費でできない部分を緊急雇用で実施したが、10年後にはまた自然生えの樹木が生い茂り、見学に支障が出てくると思われる。				
取組内容	向山古墳、片野池古墳群、滝之川古墳公園の樹木伐採及び破碎、除草を行った。				
改善案・方向性	今後も適切に史跡管理を行っていくために、補助事業のメニューを考えていきたい。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	37
事業名	長谷川家文書調査事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	現存する伊勢商人最大規模の住居・土蔵を今に残す長谷川家に伝わる約1万8千点にのぼる文書資料を目録化・資料化することにより、郷土資料の保護に努める。				
事業内容	長谷川家に伝わる約1万8千点にのぼる文書資料を目録化・資料化する。				
検討課題	貴重な長谷川家所有の資料なため、外部で調査することは不可能であり、長谷川家の部屋を借用して調査をしている。そのため、暑さ寒さの対策が調査の側からの問題として、長谷川家側からは月に1～2回、まる一日10人ほどの調査員が屋敷内を動いていることにより対応しなければならない。				
取組内容	平成20年度から5カ年計画の国庫補助事業により、毎月2回、文書班・書籍班に分かれて専門家や大学院生等により調査を実施、毎回約10名程度が参加している。				
改善案・方向性	資料を一通り調査した後、再度の検討段階には長谷川家の許可を得て、少数であれば外部で調査の残りを実施していきたい。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	38
事業名	松阪市民文化会館空調設備等緊急改修事業			担当課	文化課
達成状況	B	評価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	施設利用者が快適に安心して利用できる施設とする。				
事業内容	施設の老朽化による安全の確保及び施設利用者の快適性の確保を行う。				
検討課題	昭和57年の開館以来28年が経過し、改修を必要とする箇所が多くある。計画的な改修が必要である。				
取組内容	<input type="checkbox"/> 空調設備改修工事 <input type="checkbox"/> 楽屋トイレ排水管改修工事				
改善案・方向性	老朽化が進んでいる文化会館は、予測できない突発的な改修工事が今後起こりえるため、保守点検業務委託をするなかで計画的に改修工事を継続していく。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	39
事 業 名	松阪コミュニティ文化センター施設整備事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	施設利用者が快適に安心して利用できる施設とする。				
事業内容	施設の老朽化による安全の確保及び施設利用者の快適性の確保を行う。				
検討課題	平成7年の開館以来15年が経過し、改修を必要とする箇所が多くある。計画的な改修が必要である。				
取組内容	○手摺設置工事 (L=11.3m×2箇所)				
改善案・方向性	築後15年となり、老朽化が進んでいるが、計画的に改修工事を継続していくなかで松阪市文化センター内で精査し、優先順位を付け、改修工事を行っていく。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】			番 号	40
事業名	松阪コミュニティ文化センター舞台機構等緊急改修事業		担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	施設利用者が快適に安心して利用できる施設とする。			
事業内容	施設の老朽化による安全の確保及び施設利用者の快適性の確保を行う。			
検討課題	平成7年の開館以来15年が経過し、改修を必要とする箇所が多くある。計画的な改修が必要である。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○舞台機構改修工事 ○音響設備改修工事 			
改善案・方向性	築後15年が経過し、平成21年度から施設整備を行うことができたが、コミュニティ文化センターの舞台機構・舞台音響・舞台照明も老朽が著しく、緊急性のあるものから市民文化会館と交互に改修工事ができるように進めていく。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	41
事業名	嬉野ふるさと会館施設整備事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	施設利用者が快適に、安心して利用できる施設とする。				
事業内容	施設の老朽化による安全の確保及び施設利用者の快適性の確保を行う。				
検討課題	平成5年の開館以来17年が経過し、改修を必要とする箇所が多くある。計画的な改修が必要である。				
取組内容	○外壁タイル改修工事				
改善案・方向性	財政状況が厳しい中ではあるが、快適に安心して利用できる施設にするために、優先順位を付けて、計画的に改修を進めていく。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	42
事業名	松浦武四郎誕生地保存整備活用検討事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	郷土の偉人・松浦武四郎の功績を後世に伝えていくため、資料などにより武四郎を知る松浦武四郎記念館とは別に、武四郎の育った環境を体感し、武四郎に触れる場として、市指定史跡の松浦武四郎誕生地を整備する。				
事業内容	文化財、建造物の専門家や地域住民らで構成する委員会を組織し、松浦武四郎誕生地の具体的な整備内容や活用方法を検討する。				
検討課題	具体的な整備内容や活用方法を検討するに当たっては、財政状況を十分考慮しなければならない。				
取組内容	文化財、建造物の専門家や地域住民らで構成する委員会を組織し、松浦武四郎誕生地の具体的な整備内容や活用方法を検討した。				
改善案・方向性	財政状況を十分考慮しながら、具体的な整備内容や活用方法を検討する必要がある。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【個性あふれる文化・芸術の振興】				番 号	43
事業名	松浦武四郎記念館映像装置緊急改修事業			担当課	文化課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	施設利用者が快適に安心して利用できる施設とする。				
事業内容	開館から15年が経過し、機器の経年劣化により故障や不具合が生じていた館内映像装置及び武四郎クイズを国の臨時交付金により改修する。				
検討課題	平成6年の開館以来16年が経過し、改修を必要とする箇所が多くある。計画的な改修が必要である。				
取組内容	○映像装置改修工事				
改善案・方向性	子どもでも分かりやすい内容で松浦武四郎への理解を効果的に深めてもらうことで、武四郎を活かしたまちづくりと地域の活性化に役立てる。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【明るい生活を支えるスポーツライフの実現】				番 号	44
事業名	シティマラソン大会事業			担当課	スポーツ振興課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	マラソンを通して、参加者相互の交流親睦を深めながら、健康の保持増進や体力の向上を図るとともに、松阪市のスポーツ振興とイメージ向上を図る。				
事業内容	<p>市内外から幅広い年齢層の参加者を募集し、マラソンを通じて、感動と満足感、達成感を味わうことができる大会を開催する。</p> <p>【競技種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニングの部(10kmコース、5kmコース、3kmコース、2kmコース) ・ウォークの部 				
検討課題	<p>現在の中部台運動公園周辺のコースは、選手の安全面を最優先にしたコースであり、コースの途中には、応援する人がほとんどいないところも含まれている。大会を盛り上げるためには、沿道の応援は欠かせないものであり、選手の満足感や達成感を高めるためにも多くの人に応援できるコースの設定が望まれている。魅力あるコースの設定は、参加者の増加にもつながるが、交通量の多い道路を走る場合は、当然、交通規制等も避けられず、警察署等、関係機関との調整が必要になる。</p>				
取組内容	<p>平成21年度は、第5回の記念大会として、従来のランニングの部に加えて、新しくウォークの部(8km)を設けるとともに、タレント(森脇健児さん)をゲストランナーとして招聘したことなどにより、市内外(北は青森県から南は福岡県まで)から、過去最高の2,253人(ランニングの部 2,025人、ウォークの部 228人)の参加があった。</p>				
改善案・方向性	<p>健康や生涯スポーツに対する関心が年々高まっていることから、シティマラソン大会の必要性や意義はますます強まるものと思われる。今後、地域に密着した市のシンボリックな大会としていくためには、参加者の増加は欠かせないものであり、そのためには、魅力あるコースの設定やイベントの充実、協賛スポンサーの獲得など、運営に一層の創意工夫が必要である。</p>				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【明るい生活を支えるスポーツライフの実現】				番 号	45
事業名	体育施設整備事業			担当課	スポーツ振興課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性 A	総合評価	A
事業目的	誰もがいつでも、どこでもスポーツ文化を享受でき、生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、体育施設の整備を進める。				
事業内容	毎年、7月1日から8月31日までの2ヶ月間開設し、多くの子どもたちでにぎわう松阪公園プールは、平成5年に設置され、16年が経過している。その中でスライダーは、全長33.4m、落差3.8mで、特に子どもたちに人気のある設備である。平成13年に一部修繕を行っているが、その後、劣化・損傷が進み、このまま放置すると、スライダー滑走中に着衣の破断や皮膚を傷つけるなどの事故が起こる危惧があったために、平成21年度に滑走面の修繕等を行った。				
検討課題	生涯スポーツの振興を図るためには、体育施設の整備が必要不可欠であるが、現在、市内には老朽化した施設が数多くあり、今後、整備しなければならない施設はますます増えることが予想される。				
取組内容	<p>松阪公園プールスライダー補修修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑走面補修 ・コーキング等 <p>【松阪公園プール利用状況】(平成21年7月1日～8月31日)</p> <p>7月・・・6,032人、8月・・・5,959人 計・・・11,991人</p>				
改善案・方向性	市民の健康保持・増進や体力の向上を図るためには、活動の場であるスポーツ施設を良好な状態に保ち、市民に提供することが必要である。今後、老朽化した施設の整備は計画的に実施していくことが望ましいが、厳しい財政状況の下では、緊急性、必要性等を総合的に勘案して、優先順位をつけて、効率的に実施していかなければならない。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【明るい生活を支えるスポーツライフの実現】				番 号	46
事業名	中部台運動公園施設整備事業			担当課	中部台管理事務所
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価	A
事業目的	危険防止のため、老朽化及び長年の利用による、損傷の改修を行い、市民の皆様 にやさしい施設になるよう、良好な状態にして利用者の期待にこたえる。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・桂瀬ソフトボール場屋外トイレ新築工事 ・県営松阪野球場不陸修正工事 				
検討課題					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・桂瀬ソフトボール場屋外トイレ新築工事 30, 6m² ・県営松阪野球場不陸修正工事 4, 073. 9m² 				
改善案・ 方向性	当該施設の安全性や利便性を高め、利用者サービスの向上を図っていくことが重要であることから、継続的に老朽箇所等の改修に努めていきたい。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】				番 号	47
事業名	児童生徒安全対策支援事業			担当課	学校支援課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	B
事業目的	児童生徒の学校・通学路における事故・犯罪の未然防止と安全確保に努め、保護者の負担軽減を図る。				
事業内容	地域や保護者等と連携し、学校や通学路における事故や犯罪の未然防止を図り、児童生徒の安全確保に努め、保護者の負担軽減を図る。				
検討課題	中学校第1学年全員にヘルメットを配布した。今後は、各学校においてヘルメットの着用を含めた交通安全指導の徹底を図る必要がある。				
取組内容	<p>対象の児童生徒に対し、各校に配布を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全帽子 1,017個 ・ヘルメット(小学校) 993個 ・ヘルメット(中学校) 728個 ・防犯ブザー(H22小学1年生及び転入生) 1,717個 				
改善案・方向性	児童生徒の安全対策については、継続して行っていく必要性が高く、今後も引き続き実施していく。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	48
事業名	松ヶ崎小学校プール改築事業		担当課	教育総務課
達成状況	C	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価 B
事業目的	昭和56年度に建築された松ヶ崎小学校のプールは、経年とともに老朽化が著しく、機械設備の劣化、漏水が発生するなど学校教育に支障をきたすため改築を実施する。			
事業内容	測量設計、実施設計を実施し、プール(ステンレス 水面積250㎡)、プール関連施設(機械室、更衣室等)の改築工事を行う。			
検討課題	測量設計、実施設計、工事を進めるにあたっては、松ヶ崎小学校、土木課との協議を十分行っていく必要がある。			
取組内容	測量設計、実施設計を実施し、プール改築工事に着手した。			
改善案・方向性	完成期限である平成22年6月16日の完成をめざしてプール改築工事を進めている。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	49
事業名	バリアフリー推進事業		担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	<p>学校施設は、児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々が利用する公共施設であることから、トイレ改修、スロープ・手すりの設置等の整備を行いバリアフリー化を図る。</p>			
事業内容	<p>小野江小学校のトイレ改修工事を実施する。</p>			
検討課題	<p>これまでは、校舎内のトイレ改修や水平方向の移動についてバリアフリー化を実施してきた。また、校舎大規模改造工事時や在籍する児童、生徒の状況に応じて校舎にエレベーターを設置してきた経過があり、今後は、さらに垂直方向の移動のためのバリアフリー化を進めていく必要がある。</p>			
取組内容	<p>小野江小学校1階のトイレを車いすを使用している児童が使いやすいように改修工事を実施した。</p>			
改善案・方向性	<p>バリアフリー工事については、現在のところ、平面的なバリアフリー化(段差解消、トイレの整備等)を進めている。今後は、垂直的移動のためのエレベーター設置などのバリアフリー化を進めていく必要があるが、エレベーター等の設置工事は、多額の経費がかかるため大規模改造工事等にあわせて年次的に実施していく。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	50
事業名	エレベーター設置事業		担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価 A
事業目的	平成22年度に殿町中学校へ車いすを使用している生徒が入学するため、校舎のバリアフリー化を図る必要がありエレベーター(2基)と多目的トイレを設置する。あわせて、平成21年9月開始予定の中学校での給食をスムーズに進めるための給食配膳室設置等の工事を実施する。			
事業内容	エレベーター(2基)、多目的トイレ設置、給食配膳室設置工事等を実施する。			
検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化を行うことで、生徒等が安全で安心して学校施設を使用することができるとともに、より地域に開かれた施設として活用される。 ・工事を進めるにあたっては、安全管理を徹底するとともに学校、工事関係者との協議を十分行っていく必要がある。 			
取組内容	エレベーター(2基)、多目的トイレ設置、給食配膳室設置工事等を実施した。			
改善案・方向性	エレベーター設置工事等が完了したため、今後は、施設の適正な維持管理に努めたい。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	51
事業名	久保中学校グラウンド整備事業		担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価 A
事業目的	グラウンド排水及び地盤の悪化により授業やクラブ活動等に支障が生じているため、大規模な改修を行い教育環境の改善を図る。			
事業内容	グラウンドの暗渠排水、表面排水及び表面舗装、テニスコート整備等を一体で行う。			
検討課題	実施設計、工事を進めるにあたっては、久保中学校、土木課との協議を十分行っていく必要がある。			
取組内容	グラウンドの暗渠排水、表面排水及び表面舗装(ソイルミックス舗装)、テニスコート整備等を一体で実施した。			
改善案・方向性	久保中学校グラウンド整備事業が完了したため、今後は、グラウンドの適正な維持管理に努めたい。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	52
事業名	中学校給食配膳施設整備事業		担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	平成21年9月本庁管内中学校で開始となる学校給食のために、給食センターからの給食を受け入れる中学校に給食昇降機・配膳室の設置、搬入口、ランチルーム等の施設整備を行い、学校給食をスムーズに進めるために実施する。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田中学校: 給食昇降機(1基)設置、既設教室の配膳室への改造、搬入通路改修工事 ・久保中学校: 給食昇降機(2基)設置、配膳室設置への改造、搬入通路改修工事、既設施設移設 ・中部中学校: 給食昇降機(2基)設置、配膳室設置への改造、搬入通路改修工事、既設施設移設 ・大江中学校: ランチルーム新設工事、既設施設移設 ・東部中学校: 給食昇降機(1基)設置、既設教室の配膳室への改造、搬入通路改修工事 ・西中学校: 給食昇降機(1基)設置、既設教室の配膳室への改造、搬入通路改修工事 			
検討課題	給食配膳等がスムーズに進むように学校関係者と十分に協議する。また、工事中の安全管理を徹底する。			
取組内容	この事業により、本庁管内6中学校で給食昇降機・配膳室の設置、搬入口、ランチルーム等の施設整備が完了した。			
改善案・方向性	中学校給食のための施設整備が完了したため、今後は、施設の適正管理に努めたい。			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】				番 号	53
事業名	中川幼稚園園舎増築事業			担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	伊勢中川駅周辺土地区画整理事業により中川小学校区内の人口が急速に増加し、これに伴って幼児人口も増え、中川幼稚園への入園希望者が急増している。入園希望者が中川小学校校区内の幼児であることから、当園に受け入れざるを得ない状況で21年度の保育室不足に対応するため20年度中に現遊戯室を間仕切り保育室に改造を行った。これにより、新たな遊戯室を増築する。				
事業内容	遊戯室棟(198㎡)、トイレの増築工事を実施する。				
検討課題	施設整備に当たっては、園児の幼稚園生活等に不都合が生じないように実施する必要がある。				
取組内容	遊戯室棟(198㎡)、トイレの増築工事を実施した。				
改善案・方向性	増築工事が完了したため、今後は、施設の適正管理に努めたい。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】				番 号	54
事業名	小・中学校空調設備整備事業			担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性A、妥当性A	総合評価	A
事業目的	快適な教育環境を整え、児童生徒の学習意欲の向上及び教職員の勤労意欲の向上を図る。				
事業内容	飯高管内2小学校及び三雲中学校の図書室に空調設備を整備する。				
検討課題	空調設備整備については、年次計画をたてて実施していく必要がある。				
取組内容	飯高管内2小学校及び三雲中学校の図書室に空調設備の整備を行った。				
改善案・方向性	今後の空調設備整備時においても工事期間中の児童生徒の安全確保や学校施設の使用制限などについて学校関係者、業者等との調整を十分に行い工事を実施する。				

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	55
事業名	小・中学校施設維持修繕事業		担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	児童生徒、教職員が一日の大半を過ごす学習・生活の場である学校施設を安全で良好な状態に維持するとともに時代の要請に応じた施設水準を確保する。			
事業内容	各施設の修繕工事等を実施する。			
検討課題	学校の校舎、屋内運動場等の老朽化が進んでいるため、維持修繕にかかる経費がかさむ。多額の経費が必要となる修繕工事については、年次計画を立てて進める必要がある。			
取組内容	<p>○主な維持修繕工事の内容</p> <p>幸小学校：外壁改修工事 漕代小学校：受水槽取替工事 天白小学校：教室改造工事 柿野小学校：温水シャワー設置工事 鎌田中学校、嬉野中学校：校舎増灯工事 飯高西中学校：校舎消火栓改修工事 など</p>			
改善案・方向性	<p>施設維持修繕工事については、緊急の場合を除き、主に夏休み期間を中心とした工事となるため、設計業務の進捗状況の把握や工事期間中の校舎等の使用制限などについて学校関係者との調整を十分に行い工事を実施していく。</p> <p>また、類似工事について、まとめて発注することでコスト軽減を図りたい。</p>			

事務事業評価シート

点検評価対象テーマ【新しい教育の創造】			番 号	56
事業名	幼稚園施設維持修繕事業		担当課	教育総務課
達成状況	B	評 価	必要性A、効率性B、妥当性A	総合評価 A
事業目的	園児、幼稚園教職員が一日の大半を過ごす学習・生活の場である幼稚園、幼児園施設を安全で良好な状態に維持するとともに時代の要請に応じた施設水準を確保する。			
事業内容	各施設の修繕工事等を実施する。			
検討課題	幼稚園園舎等の老朽化が進んでいるため、維持修繕にかかる経費がかさむ。多額の経費が必要となる修繕工事については、年次的計画的に進める必要がある。			
取組内容	<p>○主な維持修繕工事の内容</p> <p>射和幼稚園、朝見幼稚園、西黒部幼稚園：保育室床改修工事 松尾幼稚園、鎌田幼稚園、東黒部幼稚園、射和幼稚園：砂場の日よけ設置工事 掃水幼稚園：温水シャワー設置工事 など</p>			
改善案・方向性	<p>施設維持修繕工事については、緊急の場合を除き、主に夏休み期間を中心にした工事となるため、設計業務の進捗状況の把握や工事期間中の園舎等の使用制限などについて幼稚園関係者との調整を十分に行い工事を実施していく。</p> <p>また、類似工事について、まとめて発注することでコスト軽減を図りたい。</p>			

IV 教育委員会の活動状況

1. 活動状況

(1) 委員選任状況

(平成22年3月末現在)

職名	氏名	任期
委員長	前田 昭徳	自 平成20年2月26日 至 平成24年2月25日
委員長職務代理者	吉田 昌夫	自 平成19年2月26日 至 平成23年2月25日
委員	中村 真子	自 平成21年2月26日 至 平成25年2月25日
委員	長谷川直樹	自 平成22年2月26日 至 平成26年2月25日
教育長	小林 壽一	自 平成21年3月25日 至 平成25年3月24日

※教育委員（教育長を含む。）任期は4年間。

(2) 会議の開催状況

定例会	12回（毎月1回）
臨時会	3回

(3) 審議状況

ア 付議案件数

議案	33件
報告	72件

イ 審議された主な議案等

- (1) 教育委員会規則等の制定・改正に関すること。
- (2) 人事に関すること。
- (3) 教育施策に関する基本的な方針に関すること。
- (4) 市議会に提出する条例改正、予算等に関すること。
- (5) 文化財に関すること。
- (6) 審議会等委員の委嘱に関すること。

(4) 研修及び学校訪問等

教育委員会の教育委員、教育関係者を対象にした三重県、三重県市町教育委員会連絡協議会主催の研修会に参加、教育改革と学校・教育委員会のあり方について研修し、さらに、先進地の教育行政を視察・研修するため、岡山県津山市教育委員会

を訪問し、津山市の伝統行事、産業、文化等が一体となって形成された良好な市街地環境を歴史的風致として維持、向上を図っている取り組みについて研修、意見交換を行ない、また、広島県福山市鞆浦の古くからの貴重な町並みや町の活性化を図るための架橋計画の現場を視察しました。

また、教育現場等の状況を教育委員が直接見聞する機会として、平成22年3月末をもって閉校する仁柿小学校、有間野小学校を訪問し、校長から教育の取り組みについて説明を受け、意見交換を行い、さらには、文化施設の情報収集のため、重要文化財御城番屋敷の修繕現場を視察し、職員から説明を受けました。

2. 今後の取り組み

松阪市教育委員会は、複雑化する教育課題に対応するため、移動教育委員会議の開催をはじめ、従来の教育委員会活動の一層の充実に取り組みました。

今後、さらに教育委員会事務局との一層の連携を図るとともに、意見交換や情報交換を行ない、その状況を直接見聞するため、学校教育現場や教育施設をできるかぎり訪問し、新しい情報収集、意見交換に努め、さらに先進地の教育行政の視察や県教育委員会主催の研修会に積極的に参加することにより、今後の教育施策に反映させていきたいと考えています。

V 第三者評価（学識経験者の知見の活用）

1. 第三者評価委員

名 前	所 属 等
田川 敏夫	元三重中京大学客員教授（元松阪市教育ビジョン構築検討委員会委員長）
森 吉男	松阪市社会教育委員長
中山 耕一	松阪市PTA連合会会長

2. 第三者評価結果について

（1）事務事業の評価

（○：できている △：一部改善が望まれる ×：不十分である）

項 目	評価	意 見 等
・事業評価が適切に行われているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法がわかりづらく、検討してみる必要があると思う。「P、D、C、A」のフローに従って評価するとより明確になると思う。 ・地域の特色を充分生かし、新しい課題等創意工夫が図られ適切と考える。
・事業評価の結果を地域住民に公開しているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政の一層の充実のために、地域住の意見聴取も必要と思う。 ・現状は不十分と思われるが、絶対的な必要性があるかという改善程度でよいと思う。 ・今日、拓かれた学校づくりと充実を図る点で、一層周知を図るよう努めている。

(2) 教育委員会の活動状況の評価

(○：できている △：一部改善が望まれる ×：不十分である)

項 目	評価	意 見 等
・ 会議の回数は、十分な論議を行えるよう確保されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会以外に臨時会も随時開催され、充分確保されており、回数的にも妥当だと思う。 ・ 定例会、他に現地開催や現場での職員との協議など十分論議されている。
・ 会議の開催日時や議題を事前に広報し、傍聴しやすいよう配慮されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に配慮されている。 ・ 適切になされているが、市民が気軽に傍聴できるような条件や雰囲気づくりにさらに努めることが大切である。
・ 会議は原則公開されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事案件等以外は公開が義務付けられており、公開されている。
・ 事務局は、委員が意思決定できるよう十分な情報提供をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の資料提供に努め、委員会の審議が適切に行なわれるよう配慮されている。 ・ 委員は資料として説明を求めることがあると思うが、一層の情報提供に努められたい。
・ 委員は、会議で積極的に発言しているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言する意欲、識見のある委員が選任されている。 ・ 現状の議題の内容からすると、専門的な知識や経験などが必要とされるので、議題をもう少しアイデアや発想程度のレベルにすると活性化するのではないかと思う。 ・ 十分、内容協議を進め、役割を発揮されていると思います。
・ 委員は、学校、教育施設等を訪問し、教職員との意見交換や研修する機会を持っているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の学校等の訪問の際は管理職だけでなく、一般の教員、PTA、学校評議員等との意見交換も必要である。また、県外視察の際は学校訪問を入れることも大切である。 ・ 今後も、現場の実情を肌で感じ、地域の特性を含め、教育の発展に資していただきたい。

3. 第三者評価の総評

【田川敏夫委員の総評】

(1) はじめに

平成 19 年度に策定し、平成 20 年度からスタートした「松阪市教育ビジョン」の進捗状況を中心に事業評価を行なっているのは当然のことながら適切である。当施策は 10 年間を目途とした中・長期的ビジョンであるので、単年度では評価できない事業も多い。そこで、事業の目標設定と各年度の達成状況がわかるような施策の体系化が必要であると思われる。一定の成果が得られた事業はその時点で廃止をしてもよい、スクラップ・アンド・ビルドの考え方が教育行政の活性化に大切である。

いずれにしても、「松阪市教育ビジョン」の具体的施策の進捗に真摯に取り組んでいる状況がうかがわれ、高く評価できる。

(2) 評価の方法について

「事業評価が適切に行なわれているか」の項目であるが、「達成状況」を A、B、C で示すのはよいとして、「必要性」「効率性」「妥当性」と三つの観点に分けた評価方法がわかりづらい。特に、「必要性」と「妥当性」は同じことを示すのではないか。また、「効率性」も何を意味するのかよくわからない。費用対効果の観点なのか、目的を達成するために効率的な事業という観点なのか、評価する側も判断が困難又はばらついてしまうと思われる。この三項目による評価方法はこれでよいのか検討してみる必要がある。

次に、「事務事業評価シート」であるが、これも「事業内容」と「取組内容」の項目は重複するのではないか。両項目を一つにして、「事業目的」を達成するために、どういう具体的事業を実施しているのか一目見てわかるように整理してはどうかと思われる。また、「検討課題」は最も重要な項目であるので、当該事業の成果や問題点がよくわかるように点検・分析結果を明記する必要がある。それに対して次の「改善策・方向性」があるのである。「P、D、C、A」のフローに従って評価していくとより事業の取組状況や課題が明確になると思われる。

(3) 「公開」について

法律第 27 条の終わりに「(略) 議会に提出するとともに公開しなければならない」とある。誰に対して公開するのか明記されていないが、「地域住民」に対してであることは法律の趣旨からいって当然のことである。「公開」することは「意見聴取」を前提としている。教育行政が地域住民のコンセンサスによって成り立ち、さらに充実していくことが期待されている。アメリカのように地域住民の「教育税」によって教育予算の大半が占められている国では、学校の存廃や学校経営のあり方、教育方法についてまで、時には住民投票まで行なわれ、地域住民が学校を作っているのだという考え方で徹底している。こうしたコミュニティスクールの考え方は、日本の学校制度にも様々な形で取り入れられつつある。事業評価の公開とそれに伴う

「パブリック・コメント」の実施、そしてそれに基づくさらなる事業の点検、改善を積み重ねていけば、地域とともにつくる学校教育の実現に大きく寄与するものと考える。

(4) おわりに

合併によって山間地域から海岸部まで広域化した松阪市の教育環境は、地域によって多様な課題を抱えている。過疎地の学校の統廃合や幼稚園、保育園の再配置の問題もその一つである。

しかし、大切なのは、どの地域で教育を受けるにしても中心は子どもたちである。地域の特性を生かしながら、それぞれの学校が個性と魅力をもち、自分の学校で学ぶことに誇りをもつ子どもたちに育ててほしいものである。松阪市の教育の特色の一つに学校間連携がある。地域で子どもたちを育てる教育に早くから取り組んでいる松阪市の教育は高く評価できる。

「夢ナビゲーション」の「夢」の実現に向けて着実に努力していることが、この報告書の全体からうかがえる。さらに改善すべきは改善して、より松阪市の教育が充実し発展していくことを期待するものである。

【森 吉男委員の総評】

市民要望は、教育のみならず、生活全般多岐に渡ります。中でも、教育については財政的（予算）で一定の成果や要望は図られます。現にこの教育ビジョンに則り、きめ細かく着実に成果を挙げられています。

相談事業と対応等、県下でも優れたスタッフを揃え対応されて、保護者から喜びと親として安心観で暮らしが変わったと伺いました。

財政面で希望に応えることは至難なこともありますが、順次進められています。特に、人的配置、物的整備充実、これらの取り組みと成果は大きく挙げて良いと考えます。

今後の一層の業績充実に対し、希望と信頼を申し上げ終わりとします。

【中山耕一委員の総評】

事業の一つ一つを取ればどれも必要だと思います。また、毎回毎回このように評価していくことも必要だと思います。しかし、予算ありきのところもあるので優先順位をつけていくことも仕方ないことです。必要性和効率性の兼ね合いも難しいところでは。

また、PTA連合会として元本部役員の方が教育委員に選任していただいたことは大変すばらしいことであり、重責を担っていただいていることに敬意を表します。今後のご活躍にご期待申し上げます。